

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2024 年 2 月 19 日

のびのび運動ひろば(主催 こうべ市民福祉振興協会) にご参加頂いたお子さま・ご家族さまへ(情報提供に関して)

臨床研究のうち、既存の情報や余った検体のみを用いる研究については、国が定めた倫理指針に基づき、対象者さまから直接同意を受けない場合があります。この場合は、あらかじめ研究内容の詳細を掲示や Web サイトにて公開し、対象者さまが拒否できる機会を設けています。

神戸大学大学院保健学研究科では、以下の研究課題を現在実施しております。この研究のために、こうべ市民福祉振興協会が主催したスポーツ事業である「のびのび運動広場」にご協力頂いた皆さまの情報を分析します。

研究のためにご自身の情報が使用されることを望まない方は、担当者までお知らせください。

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法

1) 研究課題名

発達が気になる子どもを対象とした地域で行う短期間のスポーツ実践が児および家族の健康状態と生活機能に及ぼす影響に関する研究—のびのび運動ひろば—

2) 研究の概要と目的

現在、神経発達症や発達の気になる子どもを対象とした運動・スポーツへの参加機会は多いとはいえません。例えば、放課後等デイサービス事業へ参加する子どもは増えていますが、特別支援学校における放課後の部活動やクラブ活動が活発に行われているとは言えません。障害を持つ子どもが地域で行うスポーツ活動へ参加できる機会の確保が課題になっています。

スポーツは、生活機能や健康状態を維持・向上させる効果が期待されます。参加者の運動不足を解消するだけでなく、代謝の促進、筋力の増加、爽快感を得るなど、身体的・心理的な機能に影響します。スポーツに関わる機会が限定的な障害者において、地域で行うスポーツへの参加が子どもや家族の生活機能や健康状態にどのような影響を与えているのか、検討した研究は、ほとんどありません。

従って、本研究では地域で行うスポーツ事業に参加した障害を持つ子どもと家族の特性を明らかにするとともに、スポーツ事業へ参加したことが子どもと家族の生活機能と健康状態に対してどのような影響を与えたのかを明らかにすることを目的とします。

3) 研究期間

研究を行う期間は、倫理審査委員会承認日より 2028 年 3 月末日までです。

2. 利用する情報の項目

1) 対象

2022 年度～2027年度末までに、地域で行う障害児スポーツ教室(のびのび運動ひろば)へ参加した子どもとご家族です。

2) 情報の項目

2022 年度から 2027年度末までに開催された、のびのび運動ひろば、において収集された以下の情報について提供を受けます。

<参加者の人口統計学的情報>

- 年齢、性別、身長、体重、BMI、筋肉量、体脂肪率
- 所属学級種別、所属する部活動、利用する福祉サービス、知能指数に関する情報、疾患名

<からだを動かす実技のテスト項目>

- 新体力テスト(握力、上体起こし、長座体前屈、立ち幅跳び、反復横跳び)
- 実技評価:立位バランス、ケンケン
- 教室への参加の様子

<アンケートを用いて調べた項目>

- 協調運動、運動への認識(運動への自信や苦手意識、困りごとなど)
- 生活習慣(睡眠や活動量、運動習慣など)、社会生活能力目安表
- 精神的健康、生活の質、子どもの強みと困りごと、育児ストレス、自己効力感、養育レジリエンス

3. 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

こうべ市民福祉振興協会 山本 泰生

4. 提供を受ける情報の取得の方法

1) 提供の方法

提供を受ける情報はこうべ市民福祉振興協会が個人とは無関係な管理番号を付して個人が特定されない情報へ加工したのちに書面により研究者等へ提供します。第三者が個人情報を見ることができないようにします。個人と管理番号との対応表は、こうべ市民福祉振興協会がプライバシーポリシーに従って保管します。

2) 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・主催者からのデータ収集のみであるため、特にありません。

3) 研究終了後のデータの取り扱いについて

提供を受けた情報は研究終了日から5年を経過した日または当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保管したのち、研究者等が物理的破壊等により復元不可能な状態にして破棄します。個人と管理番号との対応表はこうべ市民福祉振興協会がプライバシーポリシーに従って保管・破棄します。

4) 研究成果の公表について

研究成果は学術雑誌や学術大会、研究会、学位論文、および障害者スポーツ推進プロジェクトの報告書、関係機関のウェブサイト等を通じて公開します。

5) その他

将来の研究に本研究で得られた対象者の人口統計学的な情報、運動能力、質問紙調査で得られた情報等を使用する可能性または他の研究機関に提供する可能性があります。次期研究課題を実施する際には、改めて倫理委員会の審査を受けます。当該研究の対象者には研究施設のウェブサイト等で情報を公開し、将来への研究への参加拒否の機会を保障します。

5. 研究代表者の氏名及び所属する研究機関の名称

神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域 秋末 敏宏

6. 利用する者の範囲（共同研究機関名および研究責任者名）

神戸大学大学院人間発達環境学研究科 増本 康平
関西学院大学教育学部 松井 学洋
神戸市総合療育センター 高田 哲

7. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

神戸大学大学院保健学研究科長 秋末 敏宏

8. 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨

同意撤回書を用いて、いつでも自由に研究への参加を取りやめることができます。その場合は相談窓口ご連絡ください。結果などはすべて破棄され、それ以降研究に用いられることはありません。ただし、研究への同意を取り消した際、すでに研究成果が論文などで公表された場合など、結果を破棄できない場合もあります。

9. 問い合わせ窓口

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

共同研究者

職名:神戸大学大学院保健学研究科パブリックヘルス領域 助教

氏名:山本 暁生
連絡先:078-792-2555(代表)
メール:study_soudan@koala.kobe-u.ac.jp
受付:平日 10:00 - 17:00